

「デジタルコンテンツ創富力の強化に向けた懇談会」中間とりまとめ 全体構成

1 現状認識

2011年以降の新たなデジタルコンテンツ政策の必要性

- 世界最先端のデジタルネットワーク基盤の完成
- デバイスの多様化・高度化の急速な進展
- ソーシャルサービスの急速な普及
- グローバル市場での競争環境の激化

少子高齢化・人口減少による構造的な問題を解決し閉塞感を打破する必要

東日本大震災からの復旧・復興

- 毀損した「日本ブランド」の復活強化には、海外への正確な情報発信が重要
- 国民一人ひとりのニーズに対応した情報が適切に提供される必要

我が国のコンテンツ分野の現状と課題

- 国内市場は停滞傾向にあり、今後も高成長が予測される海外市場の開拓が必要
- 我が国コンテンツ分野の構造的課題、対象となる海外市場毎の差異等を認識して議論する必要

2 政策の方向性等

「コンテンツ中心」の新たなアプローチを志向

グローバル志向への転換

多様な手段による正確・迅速な情報発信

新たなイノベーションの創発

ユーザ志向への転換

地域の再生・活性化

政府の役割

- 経済・社会の活性化
- コンテンツ産業の国際競争力の強化
- 製作・流通環境の整備による競争の促進

3 重点推進分野

海外への情報発信力の強化

【具体的取組】

- ア 海外への映像の情報発信強化
- イ オープンな官民連携プラットフォームの構築
- ウ 放送コンテンツの海外展開の促進
- エ コンテンツ流通規制の緩和
- オ 国際的イベントやソーシャルメディアを通じた情報発信

コンテンツ制作力の強化

【具体的取組】

- ア 立体（3D）コンテンツの製作・流通の促進
- イ コンテンツ製作共用基盤等の整備の促進
- ウ 特区制度の活用促進
- エ グローバルなICTプラットフォームの活用促進

コンテンツ利活用による活性化

【具体的取組】

- ア コンテンツによる地域活性化事例の形式知化・集合知化
- イ コンテンツのアーカイブ化と利活用の促進
- ウ 地域密着メディアによる復興支援情報の発信の促進

環境の整備 コンテンツ流通

【具体的取組】

- アイウ コンテンツ製作・流通共用基盤等の整備の促進（再掲）
- 不正流通対策・権利処理一元化の着実・迅速な推進

人材育成の強化

【具体的取組】

- アイ ビジネスプロデューサの創出と社会的定着の促進

4 推進方策

【例】グローバル・コンテンツ製作・流通に向けた官民の適切な役割分担のもと、総合的なプロジェクトを推進
個別の取組の融合・相乗効果により、投入資源よりも大きな効果が発揮されるよう、

「オープンな官民連携プラットフォーム」の構築